

◎今週の御言葉 「天からの力」(使徒の働き 2 章 1 ～13節)

「突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、みな聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話した」(2:2-4) 仲森文穂

○主のご復活から50日目、ユダヤの五旬祭の朝、弟子たちはかつて経験したことのない不思議な力を受けました。彼らの上に聖霊が降されたのです。これは偶然ではなく、イエス様が約束しておられたことです。使徒1:5には「あなたがたは聖霊のバプテスマを受ける」とあり、1:8には「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受ける」とあります。この世には、人を踏みつける力があります。人を押しのけ、奪い取る力もあります。昔、ソロモンは夢で神様から「何でも望みを叶えよう」と言われたそうですが、私たちならどんな力を求めるでしょうか。お金でしょうか、権力でしょうか。永遠の若さでしょうか。

○聖霊は、私たちに愛する力をもたらします。イエス様は愛の人でした。使徒パウロは、「希望は失望に終わることがない」と言った後、「なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからだ」と、力強く語りました。詩編23編を愛唱されている方は多いと思います。病院に信徒の方をお見舞いして、ご本人から「死の陰の谷に行くときも、わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださるから」なんていう言葉が出てきてごらんない。こちらがどんなに慰められ、力づけられることでしょう。「命のある限り、神の恵みと慈しみがいつも私を追うでしょう」という御言葉もすばらしい。主の恵みと慈しみが、逃げてでも払いのけても、どこまでも追いかけてくる。この詩人が味わった幸いを、聖霊を助け手として仰ぐ私たちも豊かに味わうことができるのです。

○聖霊の求め方について、イエス様がルカ11章で教えておられます。「求めなさい。そうすれば与えられる。捜しなさい。そうすれば見つかる。叩きなさい。そうすれば開かれる」と言われた後、イエス様は「天の父は求める人たちに、必ず聖霊をくださる」と、約束されました。聖霊は、祈り求めれば与えられるのです。教会では、どんな奉仕も聖霊の賜物です。印刷物一つにも、司会の御用をする時も、オルガンの奏楽にも、会堂の生花にも、祈りがこめられ、聖霊の助けが必要です。牧師も講壇に立つため、祈って準備します。聖霊の助けなくして、御言葉を準備することも、講壇で語ることもできません。ペンテコステは昔話ではなく、今も続いています。伝道は言葉だけではなく、温もりを伝えることです。知人を教会にお誘いする時も、祈りが必要です。天からの力、聖霊を祈り求めて歩み、「主の証人」として、私たちの分を尽くして歩んでいきましょう。